

## 8. 環境目標

2011年度～2013年度までの環境負荷低減目標は(絶対量・原単位・低減量・低減率)2010年度実績基準にして表1に示す。合格率及び稼働率の目標値を表2に示す。

表1. 環境負荷低減目標値

	量単位	2010年度実績	2011年度目標			2012年度目標		2013年度目標	
		絶対量	絶対量	低減量	絶対量	低減量	絶対量	低減量	
		原単位	原単位	低減率%	原単位	低減率%	原単位	低減率%	
1. 温室効果ガス排出量(※1)	kg-CO <sub>2</sub>	15,907,455	15,671,669	235,786	15,404,558	502,897	15,137,448	770,007	
	(○/t)	1,414	1,393	1.5	1,370	3.2	1,346	4.9	
2. 廃棄物総排出量(上段)及び廃棄物最終処分量(下段)	t	3,346	3,337	9.8	3,323	22.9	3,310	36.0	
	(○/t)	0.298	0.297	0.3	0.295	0.7	0.294	1.1	
	t	0	0	0	0	0	0	0	
	(○/t)	0	0	0	0	0	0	0	
3-1. 総排水量	t	46,106	45,423	683	44,649	1,458	43,875	2,232	
	(○/t)	4.10	4.04	1.5	3.97	3.2	3.90	4.9	
3-2. 水使用量	m <sup>3</sup>	63,730	62,785	945	61,715	2,015	60,645	3,085	
	(○/t)	5.67	5.58	1.5	5.49	3.2	5.39	4.9	
4. 化学物質使用量	t	0	0	0	0	0	0	0	
	(○/t)	0.00	0.00	0	0.00	0	0.00	0	
5. エネルギー使用量	MJ	212,017,956	209,934,605	2,083,351	207,643,779	4,374,176	205,352,954	6,665,002	
	(○/t)	18,851	18,666	1.00	18,462	2.10	18,259	3.20	
6. 物質使用量(リターンスクラップ含む)	t	31,523	31,430	93	31,307	216	31,183	339	
	(○/t)	2.80	2.79	0.3	2.78	0.7	2.77	1.1	
7. サイト内で循環的利用を行っている物質等 上段: リターンスクラップ 下段: 循環水	t	0	0	0	0	0	0	0	
	(○/t)	0.00	0.00	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	
	m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-	-	
	(○/t)	-	-	-	-	-	-	-	
8. 総製品生産量または総商品販売量(最終合格量)	t	11,247	11247	-	11247	-	11247	-	
	-	1	1	-	1	-	1	-	
・グリーン購入	-								
	%			36% (※2)		40% (※2)		50% (※2)	
・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1. 排出係数は、0.455 を使用(中部電力発表値)

※2. グリーン購入の数値目標は、文具類購入品の全体に対しての目標値

表2. 環境活動の目標値

		2010年度実績	2011年度目標	2012年度目標	2013年度目標
合格率	(%)	91.9	92.2	92.5	92.9
稼働率	(%)	76.7	77.7	78.7	79.7

※2011～2013年度目標は2010年度を基準にしている。

※大物ラインにて、打痕傷が6～7%発生している。装置の改良を2012年度予定しているが、改善がどこまでできるか未知数である。

## 9. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 1) 環境活動計画の取組結果とその評価

#### 1. 温室効果ガス排出量

毎月の使用量（重油、ガソリン、軽油、灯油、LPG、電気、コークス）の測定をまとめ合理化委員会のインプット・エネルギーグループミーティングで発表しているが、このところの使用量の大幅増というのは見受けられなかった。結果として、稼働率・合格率の低迷した月と最終合格量が少なかった月は原単位が増加してしまった。

#### 2. 廃棄物総排出量及び廃棄物最終処分量

昨年より、産業廃棄物としてではなく買取で黒砂等処理できるようになり、産廃としての量は減少した。また、最終処分している産業廃棄物は0。

#### 3-1. 総排水量

2011年5月と7～9月の総排水量が増え、原単位が大幅に増加してしまった。やはり合格率の低迷による再鑄造の増加が原因と思われる。（水使用量に比例して増減する）

#### 3-2. 水使用量

総排水量と同様に2011年5月と7～9月の水使用量（地下水の使用量）が増え、原単位が大幅に増加してしまった。やはり合格率の低迷による再鑄造の増加が原因と思われる。地下水の大量使用する場所等に水道メーターを取付け監視しているが、7月～11月頃の鑄造・工作の冷却ラインにて使用が多いのがわかった。使用量が過大でないか今後も確認する。

#### 4. 化学物質使用量

全て再使用される製品のみ含有しているので“0”としている。

#### 5. エネルギー使用量

①と同様に毎月の使用量（重油、ガソリン、軽油、灯油、LPG、電気、コークス）の測定をまとめ合理化委員会のインプット・エネルギーグループミーティングで発表しているが、このところの使用量の大幅増というのは見受けられなかった。結果として、稼働率・合格率の低迷した月と最終合格量が少なかった月は原単位が増加してしまった。

#### 6. 物質使用量

合格率の低迷で目標未達が多いが、2011年10～12月の3ヶ月平均値は目標をクリアーしている。

## 2) 次年度の取組内容（各課の課題と今後の展開）

冶金課：エネルギー及び物質の投入量は社内最大の部門であり、大きなロスが発生する。放熱及び燃焼に関し、ロスの削減を実施する。

鑄造課：合格率・稼働率の主軸となる部門であり、活動成果が上記目標に直結する。各セッション毎に問題解決を実践する。

工作課：作業者スキルによって、合格率・稼働率ともに変動する面がある。効果的な教育を実行する。

製造技術課：効率を高める為の手法・技術を導入し、目標達成に寄与する。

設計課：良品率向上、最適歩留り方案への移行により、設計・開発時点からのロス削減に努める。

品質管理課：社内はもとより、外注品（中子、模型、加工）の品質向上に注力する。

### （合理化委員会の課題と今後の展開）

4つのグループにて現在も活動している。


インプット/エネルギーG：代替エネルギーや高効率設備の調査・検討、及びエネルギーロスの低減維持管理を推進する。

品質G：従業員の品質スキルを向上させる教育を行う事や、個別品点の不良対策を実施し、合格率を向上させる。

製品コスト低減G：個別品点の生産コストを見直し、歩留りを向上させ、エネルギー単位を低下させる。

6SG：全従業員に、省エネに対する啓蒙活動を続け、ムダを削減する。

## 10. 提出書類一覧

承認	作成
'11年12月22日	'11年12月21日
	

届出書類名	設備名	法律名	届出先	届出日	受付日	
・ 煤煙発生施設設置届出書(法)	溶解炉(5t電気炉 2機)	大気汚染防止法	旧江南保健所	昭和55年3月28日	昭和55年3月28日	
	溶解炉(10t電気炉 1機)		旧江南保健所	平成3年7月6日	平成3年7月6日	
・ 氏名等変更届出書(法)	溶解炉(電気炉 3機)		尾張県民事務所	平成21年8月25日	平成21年8月25日	
・ 煤煙発生施設等設置届出書(条例)	溶解炉(キューポラ)	愛知県公害防止条例	旧江南保健所	平成11年4月26日	平成11年4月26日	
・ 氏名等変更届出書(条例)	溶解炉(キューポラ)	県民の生活保全に関する条例	尾張県民事務所	平成21年8月25日	平成21年8月25日	
・ 氏名等変更届出書(法)	ベルトコンベアー	大気汚染防止法		平成21年8月28日	平成21年8月28日	
・ 粉塵発生施設設置届出書(法)		県民の生活保全に関する条例		平成22年2月26日	平成22年2月26日	
・ 煤煙発生施設等設置届出書(条例)				平成22年2月26日	平成22年2月26日	
・ 氏名等変更届出書(条例)				平成22年2月26日	平成22年2月26日	
・ 氏名等変更届出書(条例)		地下水			平成21年8月28日	平成21年8月28日
・ 特定施設の設置の届出(法)	工場全般	騒音規制法		大口町役場	平成15年3月31日	平成15年3月31日
・ 特定施設の設置の届出(法)		振動規制法			平成15年3月31日	平成15年3月31日
・ エネルギー使用状況届出書(法)		エネルギーの使用の合理化に関する法律	中部経済産業局	平成22年5月27日	平成22年5月27日	
・ エネルギー管理統括者、管理企画推進者選任・解任届出書(法)				平成22年11月2日	平成22年11月5日	
・ エネルギー管理者選任・解任届出書(法)		労働安全衛生法	愛知労働基準監督署	平成22年11月2日	平成22年11月5日	
・ 統括安全衛生管理者(法)				平成20年5月9日	平成20年5月9日	
・ 安全管理者(法)				平成20年8月27日	平成20年8月27日	
・ 衛生管理者(法)				平成18年12月4日	平成18年12月4日	
・ 産業医選任報告(法)				平成21年12月9日	平成21年12月9日	

報告書類名	設備名	法律名	届出先	届出日	受付日
・地下水揚水量報告書(条例)	地下水	県民の生活保全に関する条例	尾張県民事務所	平成23年4月11日	平成23年4月11日
・産業廃棄物処理計画実施状況報告書(法)	工場全般	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		尾張県民事務所	平成23年6月30日
・産業廃棄物処理計画書(法)			平成23年6月30日		平成23年6月30日
・エネルギー定期報告書(法)		エネルギーの使用の合理化に関する法律	中部経済産業局	平成23年5月24日	平成23年5月24日
・エネルギー中長期計画書(法)				平成23年5月24日	平成23年5月24日
・地球温暖化対策計画書の作成(条例)		県民の生活保全に関する条例	尾張県民事務所	3年毎に提出(次回2013年)	
・地球温暖化対策実施状況書の作成(条例)				平成23年6月22日	平成23年6月22日
・公害防止協定に係る調査及び測定結果について(報告)		公害防止協定書	大口町役場	平成22年5月14日	平成22年5月14日
・第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書		特定化学物質の環境への排出量等及び管理の改善の促進に関する法律	尾張県民事務所	平成23年6月8日	平成23年6月9日
・特定化学物質取扱量届出書		県民の生活保全に関する条例	尾張県民事務所	平成23年6月13日	平成23年6月15日

上記報告書類は別紙1にあり

環境に関する公的資格者及び選任届出リスト

改定日	作成	承認	改訂内容
'08年9月1日	大脇	西本	リスト変更
'09年12月21日	大脇	野村	リスト変更
'10年12月22日	大脇	野村	リスト変更
'11年12月27日	大脇	野村	リスト変更

承認	作成
'11年12月28日	'11年12月27日
	

選任届出名称	氏名	資格者の種類	対象設備	選任届出の根拠となる法律	取得方法
危険物取扱者	松田 幸治	乙種 3類	工場全般		講習
	松田 幸治	乙種 4類	工場全般		講習
	木下 健				
	伊原 宏幸				
	安藤 正彦				
	田中 秀典				
	高柳 陽介				
	河野 隆				
藤村 直希					
防火管理者	伊原 宏幸 田中 秀典	甲種	工場全般	消防法施行規則第4条	講習
安全管理者	野村 忠志				講習
衛生管理者	中村 泰	第1種		労働安全衛生法第12条	国家試験
特定高圧ガス取扱主任者	藤崎 康弘 町田 良人	液化酸素	液化酸素タンク	一般高圧ガス保安規則第73条	講習
高圧ガス保安講習修了者	田中 成浩 浅野 正樹		液化酸素タンク	高圧ガスCE設置事業所(第2種)	講習
粉塵作業特別教育修了者	村川 準二 小竹 礎功 高橋 八重乃			労働安全衛生法第59条	講習
特定化学物質等の作業主任技能者	田中 成浩				講習
エネルギー管理士	田中 秀典 大脇 秀規		工場全般	エネルギーの使用の合理化に関する法律第8条	特別講習